

# みえ高校生県議会 フィードバック

## みえ高校生県議会 フィードバック 開催概要

みえ高校生県議会ですぐいただいた質問や提案について、議会での議論の状況を議員から参加生徒に直接説明するフィードバックを開催しました。

(フィードバックを希望する高校を対象に開催：10校／11校)

### (内容)

- 1 自己紹介
- 2 委員・事務局から説明(委員会での討議や委員長報告、広報等について)
- 3 高校生・学校から説明(開催後の動き等について)
- 4 質疑応答

### (開催日) ※：オンライン開催

- 12月11日(水) 津西高等学校(芳野委員・小林座長)
- 1月21日(火) 津工業高等学校(荊原委員・東委員)
- 1月22日(水) 相可高等学校(辻内委員・芳野委員)
- 1月24日(金) 紀南高等学校(龍神委員・荊原委員)
- 1月27日(月) 四日市高等学校(伊藤委員・龍神委員)
- 2月 3日(月) 津田学園高等学校(小林座長・藤根委員) ※
- 2月 4日(火) 津高等学校(吉田委員・松浦委員)
- 2月 5日(水) 名張高等学校(松浦委員・吉田委員) ※
- 2月 7日(金) セントヨゼフ女子学園高等学校(東委員) ※
- 2月10日(月) 伊勢高等学校(藤根委員・東委員)

### (説明資料)

- ・令和6年10月30日 広聴広報会議資料3-1  
「みえ高校生県議会での質問・意見に対する行政部門別常任委員会での対応状況について」

### (議員からの説明)

該当委員会に所属する委員から、委員会での討議等の状況を説明しました。

#### ■ 総務地域連携交通常任委員会

- ・10/7の総務地域連携交通常任委員会 委員間討議および10/18委員長報告について説明。 ※津西、津

- ・ 12/11 の総務地域連携交通常任委員会 所管事項説明での「公共交通の維持・確保に向けた取組について」も説明。(当日資料の一部を使用) ※津

■ 政策企画雇用経済観光常任委員会

- ・ 9/25 の政策企画雇用経済観光常任委員会 委員間討議および 10/4 参考人招致について説明。 ※津田学園

■ 環境生活農林水産常任委員会

- ・ 10/7 の環境生活農林水産常任委員会 委員間討議および 10/18 委員長報告について説明。 ※相可、伊勢

■ 医療保健子ども福祉病院常任委員会

- ・ 10/4 の医療保健子ども福祉病院常任委員会 委員間討議について説明。  
※セントヨゼフ女子学園
- ・ 10/15 の医療保健子ども福祉病院常任委員会 委員間討議について説明。  
※四日市

■ 防災県土整備企業常任委員会

- ・ 10/8 の防災県土整備企業常任委員会 委員間討議について説明。(当日資料の一部を使用) ※紀南

■ 教育警察常任委員会

- ・ 10/9 の教育警察常任委員会 委員間討議について説明。 ※津工業、名張
- ・ 10/7 の教育警察常任委員会 委員間討議について説明。 ※紀南 (補足)

(生徒・学校から:「みえ高校生県議会」後の取り組み<質問に関連したもの>)

■ 津西

- ・ 「みえ高校生県議会」が終わってからも、スクールバスの利便性向上に向けた活動を続けており、自分たちにできることを探して取り組んでいる。

■ 津工業

- ・ 「みえ高校生県議会」開催後、1人1台端末の活用に向けて、全校生徒を対象にしたアンケートと教員を対象にしたアンケートを実施した。回答率は高校生県議会開催前よりも高くなった。また、(フィードバック実施日の)直近で教育委員会の指導主事を講師にした教員のICTの研修を実施することとなった。

■ 相可

- ・ 3月の学習発表会で、「みえ高校生県議会」の取り組みを学内で発表する

予定。探究の授業では、ふるさと納税用のチラシやPR物の制作を続けている。

- ・先日三重県農林水産部が来校し、来年度に向け、三重県産品の魅力発信の事業で相可高校と連携して事業を進めていくことになった。高校生県議会での相可高校の質問がきっかけの一つとなったとのこと。
- ・9月に東京の三重テラスで、普通科・食物調理科の生徒が伊勢いものPRを行った。

#### ■ 紀南

- ・秋に、3年生の生徒と連携して全校生徒での避難訓練を実施した。また、最短避難経路ルートへの横断歩道の設置については、全校生徒・教職員へ署名を求めて地元警察へ要望した。これまで避難訓練は3年に1度の実施であったが、避難訓練の経験がある生徒も避難経路を忘れてしまっている等の課題が判明したため、生徒が学校に提案し、今後は毎年避難訓練を実施することとなった。また、地元警察からも、次年度以降は避難訓練に協力したいとの申し出があり、学校としては大きな前進を実感している。一連の取り組み（「防災きにゃんプロジェクト+」）は、「令和6年度みえの防災特別賞」を受賞した。

#### ■ 名張

- ・「みえ高校生県議会」後、委員長の答弁を受けて早速校内でどのようなアプリを使いたいアンケートをとり学校に提出したところ、学校の確認後、使いたいアプリをダウンロードできるようになった。アンケートでは検定やSPIのアプリの利用希望もあり、いわゆる「学科」以外にも生徒は主体的に学びたいという意欲を持っていることが分かった。また、教員も様々なアプリをインストールできるようになったと聞いた。

#### ■ 伊勢

- ・（教員）「みえ高校生県議会」後に三重県農林水産部から連絡があり、調整の結果、2月に森林教育の出前授業（2年生対象）を実施することとなった。あわせて、農林水産部の「みえ森林教育プログラム」という森林教育の事例集に、今回の「みえ高校生県議会」にかかる一連の内容（出前講座含む）が掲載されることになった。「みえ高校生県議会」をきっかけに、参加した2人だけでなく、生徒たちが森林のことを知る貴重な機会を得て感謝している。



林業普及指導員による森林教育の出前講座の様子

- ・ 「みえ高校生県議会」後、より興味をもって身近な植物を調べていると、校内に珍しい品種の桜があることに気づいた。花見会などを企画して、生徒が植物や森林に興味をもつきっかけにできたらと考えている。

(生徒・学校から:「みえ高校生県議会」後の取り組み〈質問関連以外のこと〉)

■ 紀南

- ・ 「みえ高校生県議会」の体験は、職業体験などの面接の際に自己PRとして話している。

■ 四日市

- ・ 2年生の生徒が各自取り組む探究活動の中で、「みえ高校生県議会」の経験(同じ内容について複数の角度からアプローチしてみることや人前で話す経験など)が役立ったと感じる。
- ・ 平日休みの際に、県議会の一般質問を傍聴しに行った。自分たちの質問と比べて、議員の質問は内容が吟味されていて中身が深いと感じた。
- ・ 「みえ高校生県議会」後、県議会議員が近鉄富田駅や近鉄四日市駅でビラを配っていることに気が付いた。話しかけてみたいがなかなか勇気が出ず、まだビラを受け取れていない。

■ 津田学園

- ・ 11月の桑名市長選挙を前に、新聞社の企画で市長候補者に学園を代表してアンケートをした。その際に「みえ高校生県議会」の体験についても話をした。市長候補者には「市民のことを1番に考えてほしい」と伝えることができた。
- ・ (教員)生徒から説明のあった桑名市長候補者へのアンケート企画について、「みえ高校生県議会」を経験する前であれば、「生徒に政治のことはわからない」と教員側で企画を断ってしまっていたかもしれないと感じた。「みえ高校生県議会」を経験したことで、生徒だけではなく教員側にも、一市民として政治に参加することへの意欲、気持ちについて変化ができたことは貴重な経験となった。
- ・ 駅で県議会議員と思われる人がチラシを配っていることに気づいた。「みえ高校生県議会」の時に「まずは興味を持つことから始めてほしい」という話があったので、チラシをもらってみた。
- ・ (教員)当日答弁をしてもらった委員長の県政報告が自宅にポスティングされていた。「みえ高校生県議会」のことについても触れていたため、生徒にも共有した。

## ■ 津

- ・ 校外でのさまざまな体験や活動に取り組む生徒（能登半島地震のボランティアやビブリオバトルなど）の経験を共有する、1年生～2年生を対象にした発表会を3月に予定している。その発表の際に「みえ高校生県議会」についても触れたいと考えている。

## ■ 名張

- ・ 2月に行われる「みえ探究フォーラム2024」という、県内の高校生が「探究」の時間に取り組んだ研究成果を発表するイベントに参加する。その際に、「みえ高校生県議会」での体験についても話したいと考えている。
- ・ 3月に全校生徒の前で「みえ高校生県議会」について報告する。質問や答弁だけでなく、議会での議論やフィードバックについても共有したいと考えている。
- ・ 秋に地元のケーブルテレビの取材を受けた。（10月～11月に放送）

### （生徒・学校から：「みえ高校生県議会」後の周りの反応）

## ■ 相可・紀南・四日市・津・名張・セントヨゼフ女子学園・伊勢

- ・ 「みえ県議会新聞R6 NO. 1」発行後、校内の友人だけでなく、他校の同級生や恩師からも「新聞を見た」という連絡があり、反響を感じた。
- ・ みえ県議会新聞R6 NO. 1は、カラーで見やすく印象に残る。



### （生徒・学校から：「みえ高校生県議会」を経ての感想）

## ■ 相可

- ・ 自分たちの提案が県の事業として形になっていくとは思っていなかった。とても嬉しい。

## ■ 津

- ・ （本番で）議員とお昼ご飯を一緒に食べられたのは楽しかった。
- ・ 「みえ高校生県議会」に参加する前は、全く政治には興味がなかったが、参加後、議員は意外と話しやすいと思った。津新町駅で街頭演説をしているのを目にすると、見てみようと思うようになった。朝は登校で急いでいるので、夕方等別の時間帯だったらもっとしつかり聴けるのに、と思う。
- ・ 津新町駅で議員やその支援者がティッシュやチラシを配っているのをよく見るが、高校生はスルーされがちで大人を選んで配っているように思う。大人の側から「高校生は政治に興味を持っていないだろう」という線引きを感じる。高校生も人によっては有権者で、その1票の価値は大人と同じ。

高校生にもいろいろな考えの人がいるので、「高校生」という理由で一概に遠慮せずにアプローチしてほしい。

■ 名張

- ・ 求めていたことが迅速に実現して、感謝している。「みえ高校生県議会」の体験を通して、言ってみる・やってみることで変えていくことができるという実感を持った。

■ セントヨゼフ女子学園

- ・ 人生で一番緊張したが、議員の皆さんからの声掛けで緊張が少しほぐれた。また、他の学校の質問を聞いて、他の分野にも興味が湧いた。貴重な経験ができたと思うので、自分たちの後輩にもバトンを渡したい。

■ 伊勢

- ・ 「みえ高校生県議会」を通して、知らないことをたくさん知ることができた。
- ・ 議員と接して、しっかり県のことを考えてくれている人がいるんだということを実感した。これまで県など自治体のことを意識することはなかったが、今回の経験を通してそういった立場の人を身近に感じるようになった。また、これまで県のウェブサイトを見たことがなかったが、思っていたよりも多くのサイトがあり、さまざまな情報がまとめられていることを知ることができた。自分から情報を見に行くことが大事だと思った。

(当日の様子)



12/11 津西（芳野委員・小林座長）



1/21 津工業（東委員・荊原委員）



1/22 相可 (辻内委員・芳野委員)



1/24 紀南 (龍神委員・荊原委員)



1/27 四日市 (龍神委員・伊藤委員)



2/3 津田学園 (藤根委員・小林座長)



2/4 津 (松浦委員・吉田委員)



2/5 名張 (吉田委員・松浦委員)



2/7 セントヨゼフ女子学園（東委員）



2/10 伊勢（東委員・藤根委員）

## みえ高校生県議会での質問・意見に対する行政部門別常任委員会での対応状況について

### 1 概要

令和6年8月21日(水)に開催したみえ高校生県議会で高校生から頂いた質問や意見については、9月定例会議の各行政部門別常任委員会において、委員間討議が行われました。また、令和6年10月18日(金)開催の委員長会議にて、各委員会での対応状況について、委員長から報告されました。

### 2 各行政部門別常任委員会での対応状況

委員会	学校名・質問事項	委員会での対応状況
総務 地域 連携 交通	【津高等学校】 三重県の過疎化に対する取り組みについて	・委員間討議の中で、高校生からの意見を執行部に伝え、今後の取り組みの参考としてもらうこととした。(津)  ・執行部への聴取及び委員間討議の結果、委員長報告を行うこととした。 ・委員長報告 →「 <u>運転士確保等に取り組む事業者へのより一層の支援</u> 」について執行部に要望した。(津西・みえ夢学園)
	【津西高等学校】 三重県内のバスにおける2024年問題がおよぼす影響について	
	【みえ夢学園高等学校】 公共交通機関の不便さについて	
政策 企画 雇用 経済 観光	【津田学園高等学校】 三重県の観光・バリアフリーについて	・委員協議の結果、バリアフリー観光について知見を深めるため、参考人の招致を決定した。 ・参考人として伊勢志摩バリアフリーツアーセンター事務局長から、「バリアフリー観光のこれまでの歩みや理念について」や「バリアフリー観光の現状の課題、今後の展望等について」などについて意見聴取した後、再度委員間討議を行って議論を深めた。 ・委員会としての意見をとりまとめ、大きく以下の2点について執行部へ要望するとともに、次回以降の委員会において執行部から報告を求めることとした。 ① 《バリアフリー観光の推進に係る全体的な意見》障がい特性にも注目をしてバリアフリー観光を推進するとともに、特別支援学校の先生が修学旅行の訪問先決定に困っている現状があるため環境の改善に取り組むべき。 ② 《使い切り入浴着の普及啓発等に係る意見》女性や手術痕のある方々にとっては、使い切り入浴着があれば利用したいと思う方は多いはずで、実際に導入例もあり、利用客が互いに納得した上で使用されるのはよい取組である。一方、普及にあたっては、日本の風習上の他の利用客との関係について整理することや、衛生上の問題などについて整理をした上で取り組むべき。

委員会	学校名・質問事項	委員会での対応状況
環境 生活 農林 水産	<p>【相可高等学校】 地域の食文化を幅広く知ってもらうために</p> <p>【伊勢高等学校】 森林の有効活用と意識改革</p>	<p>・委員間討議を行い、委員長報告を行うこととした。</p> <p>・委員長報告 →<u>県産農林水産物の更なる魅力発信を執行部に要望した。(相可)</u></p> <p>→①より一層の県産材の利用推進 ②県民の森林保全や木材利用に対する意識醸成に着実に取り組むことを執行部に要望した。(伊勢)</p>
医療 保健 子ども 福祉 病院	<p>【四日市高等学校】 人口減少対策としての結婚に結びつく支援制度について</p> <p>【セントヨゼフ女子学園高等学校】 三重県の医師不足を解消するには</p>	<p>・委員間討議にて、紹介いただいた「メタバース婚活の取組及びそのメリット」について共有したうえで、「出会い支援」について先行して取り組んでいく市町等の事例研究を進められるよう執行部に申し述べた。(四日市)</p> <p>・いただいた意見を委員間討議で共有するとともに、県内のオンライン診療の進捗状況や通信環境の整備状況等、へき地における医療アクセス向上のための取組等について県当局に確認したうえで、オンライン診療の現状における課題や先進都道府県の調査・分析をし対策を検討されるよう、また三重県における疾病構造について独自に分析し若手医師に情報提供するなどして三重県で働く意欲を喚起するよう方策を検討されるよう執行部に要望した。(セントヨゼフ)</p>
防災 県土 整備 企業	<p>【紀南高等学校】 「Myまっぴらん+（プラス）」の活用状況と普及のための対策、及び避難の際の課題に対する対応について</p> <p>【津工業高等学校】 一人一台端末を使った学習環境の改善について</p> <p>【名張高等学校】 A Iの活用で「質の高い教育」を</p>	<p>・「Myまっぴらん+（プラス）」についてさらに調査を深めるため、執行部から「Myまっぴらん+」の概要と現在の取組組みについて所管事項説明を受けた。また、委員間討議を行い、高校生の意見は、今後、関連する審査・調査の際に活かしていくこととした。</p> <p>・執行部への聴取及び委員間討議を行い、一部の教員がICT化に対応できておらず、学習ICT端末を使った学習を上手くできていないと高校生が感じていることを執行部に確認した。執行部からは、高校で段階的に進めていた自己負担端末が、今年度すべての学年へ導入されたところであり、端末を活用した授業の指導力には教員によって差があるようなので、引き続き、効果的な活用の事例集の共有を進め、教員研修にも取り組んでいく旨の回答があった。今後は、適宜、常任委員会の所管事項等で議論を深めていくことを確認した。(津工業)</p>
教育 警察		<p>・執行部への聴取及び委員間討議を行い、1人1台端末へのアプリ利用制限について、各学校の判断で解除できることを高校生に周知しているのかを執行部に確認した。執行部からは、これまで高校生には周知されていなかったため、今後は生徒の要望を聞き取り、本当に必要な学習アプリであれば、積極的に活用できるようにする旨を各校長に依頼した旨の回答があった。今後は、適宜、常任委員会の所管事項等で議論を深めていくことを確認した。(名張)</p>